

ユースボランティア

茅ヶ崎2021

体験期間

2021年7月21日(水)
～2021年9月11日(土)

シェア
de
ボランティア

いつもの年なら体験の後みんなで共有する

“カフェ de ボランティア”がコロナ禍で実施できなかったため

“シェア de ボランティア”が生まれました



主催：(社福)茅ヶ崎市社会福祉協議会・(認定特非)NPO サポートちがさき

シェア de ボランティアとは・・・

ユースボランティアで各々が体験したことを
自分だけの振り返りにとどまることなく、みんなと共有することで
新たな気づきや発見があることを期待して作成しました。
読んでくれたら嬉しいです！

オリエンテーション

第1回：2021年7月 9日（金）18:00～19:30
第2回：2021年7月10日（土）15:00～16:30
個別：2021年7月11日（日）～7月17日（土）

体験先団体

福祉

生活リハビリクラブ茅ヶ崎
（社福）翔の会 萩園ケアセンター
（社福）翔の会 湘南鬼瓦
（社福）翔の会 ブルーベリー
（社福）翔の会 水平線・入道雲
（特非）松の実会 みらま〜る
ボランティア香川

環境

ほのぼのビーチ茅ヶ崎
茅ヶ崎里山公園倶楽部

子ども

（社福）松が丘保育園
（特非）ワーコレたんぽぽひろばたんぽぽはうす
きらきらぼし（子育て応援する会）
ちがぼ〜（茅ヶ崎に冒険あそび場をつくろう会）
（特非）赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会

社会教育

（特非）湘南市民メディアネットワーク

地域安全

サーフ 90 茅ヶ崎ライフセービングクラブ

団体支援

（認定特非）NPO サポートちがさき

※コロナ禍でやむなく生活リハビリクラブ茅ヶ崎・茅ヶ崎里山公園倶楽部 体験中止

《《(社福)翔の会萩園ケアセンター



赤羽根中学校 2年生

今回のボランティアで難しかったのは利用者さんのお話です。

「いろんな人と話してみても」と言われてオロオロしながら話しているとあいさつをするだけだったり返事が返ってこなかったりしてなぜだろう?と思いました。職員さんを見て、私は立ったままオロオロ話されてもつまらないと思い、今度はきちんとしゃがんでハキハキ話してみました。

すると会話が続き、中には「お話したいけど耳がとおいからはっきり大きく話してね」などお願いをしてもらえようになりました。

みなさんが帰るときに「あなた次も私が来る金曜日に来てお話ししてね」と言ってくれたときはきちんと目を見て話すだけで年は80歳近くはなれていても仲良くなれるのだなと思い、とてもうれしかったです。

茅ヶ崎北陵高校 2年生

私は高齢者介護や福祉について大変でつらい仕事なのだろうと思っていました。実際ユースボランティアで仕事を生で見たり、聞いたりしてみると、働いている方々はみんな、高齢者の方々とたのしそうに会話をしていたり、すごくやりがいをもってされている方が多くいて、介護や福祉への印象が大きく変わりました。

茅ヶ崎北陵高校 2年生

高齢の方とお話したり、困っている時に職員の方に助けてもらったりする中で、人のあたたかさに触れることができて、心もあたたかくなったし、感謝の気持ちでいっぱいになりました。利用者さんの心も少しでも同じようにあたたかくなっていたらいいな、と感じました。

茅ヶ崎北陵高校 2年生

コロナの影響で中止になってしまう活動も多い中、とても貴重な経験をさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。機会があれば、またお願いしたいと思っています。

茅ヶ崎高校 3年生

初めて知ることたくさんあり、とても自分のためになりました。今後、私は医療系の職業に就く予定なので、この経験を色々な場面で生かしていきたいと思います。

茅ヶ崎高校 3年生

高齢者のデイサービスの利用者さんには様々な支援や介護を必要としている方がいることや、送迎を行っていること、看護師が必要であることなど、多くのことを学ぶことができました。

私は看護師を目指しているのですが、薬の投与などの医療行為や利用者さんの健康状態の管理などは看護師が行っているということを知れて、とても為になりました。

人の役に立ち、感謝してもらえることの楽しさや嬉しさを強く感じることができました。

《《(社福)翔の会 湘南鬼瓦



茅ヶ崎高校 3年生

2日間ボランティアに行き、最も印象に残っていることは施設の職員さんたちが四六時中気を配っていたことです。読み聞かせをしていたり、一緒に遊んでいるときも常に周りを見てお手洗いに連れて行ったり、喉が渇いた人にお茶を運ぶなど動き回っているのを見て改めてこの仕事は大変なんだなと思いました。

茅ヶ崎高校 3年生

初日はボランティアに参加するのが初めてだったので、とても緊張しましたが、職員の皆様や鬼瓦の皆さんが明るく接してくださったので、とても楽しく活動に取り組むことができました。

茅ヶ崎高校 3年生

湘南鬼瓦の方々は優しく元気があって、自分も元気になりました。しかし、楽しいことだけでなく、急に発作が起こる方がいて、その時自分は何もできないのが悔しいです。

また、湘南鬼瓦では、障がい度合いで階や部屋を分けたり、人と適度な距離を保つため仕切りを作ったりなどいろいろな工夫をしていて、私も何か一つ考え、今後何かの役に立てればと思います。

《《(社福)翔の会ブルーベリー



赤羽根中学校 2年生

自分の苦手なことはだれかにカバーしてもらえば良くてそのかわりに自分のことでだれかを助けてあげることが大事なんだなと思いました。

北陽中学校 3年生

たくさんお話をしたりはできなかったけれど、自分の経験が増えたことによって社会全体を見る目が少し変わったと思う。これからは今までより一層『十人十色』という考え方をしていきたいと思った。

アレセア湘南高校 1年生

知的障がいのある方とクッキーづくりや会話をした。自分が想像してたよりも優しくテキパキとしてしっかりしていて面白かったから、ボランティアに参加して良かった。楽しかった。いろんなことを学べた。沢山話しかけてくれる人がいてもっと会話がはずむようになりたいと思った。

アレセア湘南高校 1年生

難なく会話ができて、親切に話しかけてくれた人や言葉は発しないが、表情や行動で示そうとする人、こだわりの強い人、某アニメが好きで話し方をアニメやキャラクターに寄せている人など、個性が豊かな人たちと関わるのができてとても面白かったです。普段は落ち着いているのですが、話している最中や仕事を始める前などで突然かんしゃくを起こす方がいました。ただ感情のコントロールが苦手なのかもしれませんが、他に会話がうまくできず、自分の意見が上手く伝わらないことへの苛立ち、ましてやその怒りを使って自分

の考えや意見を表現しようとしていたと考えました。

鎌倉女学院高校 2年生

利用者さん全員とコミュニケーションが取れた訳ではありませんでしたが、何人かとは、コミュニケーションが取れたので一つの収穫だと思います。みなさんと笑いながら製作できたので美味しいクッキーになったと思います。

茅ヶ崎西浜高校 3年生

実際に知的障がいを持つ方とクッキーづくりをして感じたことは一人一人の個性を生かしてお仕事をしていることや、その方に合った接し方があるということです。普通に生活をしているだけでは感じ取れないことを学ぶきっかけとなり、ボランティアに参加できてよかったなと思いました。体験終了時の帰り道に（作ったクッキーを）食べた時の感動を忘れずにいたいと思います。そしてこれからも積極的にボランティアに参加する気持ちを大切にしたいです。

茅ヶ崎高校 3年生

今回は利用者さんとお菓子作りを主にやらせていただきました。コミュニケーションをとるのが難しいと感じることがありましたが、一緒に作業をしていくことで、ジェスチャーを使うことで、わかりやすく思いが伝えられることや、お菓子の生地が上手く混ぜられた時には一緒に喜ぶとより楽しそうに作業をしていると感じたことなど、様々な発見をすることができました。そして、明るく笑顔で接することの大切さを改めて実感することができたので、今後も意識して生活していこうと思います。

《《(社福)翔の会 水平線・入道雲》

茅ヶ崎高校 3年生

スタッフの方は通りがかる人みんなに挨拶や少しおしゃべりしていて、そういった少しのコミュニケーションが家族のような雰囲気づくりにつながっているのだと感じました。

アレセア湘南高校 3年生

同じ障がいといっても、色々な障がいの方がいて、そういう人がもっと外に出ていきやすいようなもっとバリアフリーな世の中になってほしいと思いました。

《《(特非)松の実会みらま〜る》

第一中学校 1年生

私は最初目上の人と話すのが苦手でした。でもこのボランティアに参加して、少し苦手意識がなくなったと思います。それからメンバーの方と昼食を作ることで何か1つのことを誰かと協力して何かをやり遂げた喜びを知りました。そして手伝った時や帰る時に「ありがとう」や「おつかれさま」、「来年も来てね」と言われてとてもうれしかったです。ボランティアに応募する時に保育系だけに行くと思っていたのですが、福祉のボランティアに応募してよ

かったなと思いました。

赤羽根中学校 3年生

1日目初めて訪問したときはインターフォンを押すまでに緊張して、一瞬帰ってしまいたいと思ったのですが、みらま〜るで過ごすうちに、同じボランティアで来ていた方とお友達になったり、普段は絶対話さないであろう世代の方たちともたくさんお話ができ、本当にたのしい時間だったので、ずっとここにいたい・・・と思ってしまいました。

茅ヶ崎北陵高校 2年生

“障がいを持っている”といっても、症状の度合は人それぞれなので、ひとりひとりの障がいと向き合って、どのように接したらお互いが嫌な思いをしないかを考えることができたなら、もっと暮らしやすい社会になると思うし、そもそも障がいの有無に関わらず、お互いを受け入れ合うことが大切だと思います。まだまだ知らないことも多いし、今回のボランティアでもどうしたらいいかわからないことやもっとこうしていれば利用者の方が過ごしやすかったのではないかなと思うことが多かったです。なのでまずは、障がいについてもっと知識を増やしたいと思いました。

茅ヶ崎北陵高校 2年生

今までネットなどでしか知ることがなかったことを、直接活動するという貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。障がいがあってもできることは多くあるということ、1日を通して一番感じました。障がいがあるからすべて手伝わなくて、ではなく、もし出来ないことがあったら手伝える。手を出すのではなく言葉で伝える。ということが大切なのだと思いました。

慶應義塾女子高校 3年生

「相手の話をよく聴くこと」今回の体験は私にとって、このことの重要性をひしひしと感じるものとなった。これまで家庭内での会話は「話し役」として過ごしてきたが、当日は立場が一変。施設利用者の方との会話を通じて「傾聴」の難しさ、大変さを知った。しかしそれ以上に「他の人を幸せにするには、自分から何かを伝えるだけでなく、相手に耳を傾けるということに気づかされた。

《《ボランティア香川》

茅ヶ崎北陵高校 2年生

「してあげる」という気持ちは絶対もってはいけない。「させてもらっている」という気持ちで活動する。という言葉に私は少しギクリとしました。今まで「あの人大変そうだからしてあげなきゃ」という気持ちが少なかったからです。

茅ヶ崎北陵高校 2年生

自分が将来国家公務員になりたいと話をした所、ボランティアの方が、行政がもっとボランティア団体を支える仕組みが欲しいとおっしゃっていたのが、自分の中の新たな目線になりました。その方がおっしゃっていたのは高齢者などを車で病院に送り迎えしたときに事故に遭ってしまった場合などに保障をしてくれ

る制度がないということでした。こういうこともあって、送迎をやっている団体も少ないみたいです。まだまだ世の中には自分の知らないことが沢山あって、今回の体験が今後の進路選択においてもとても貴重な経験になったと感じています。

《《(社福)松が丘保育園



浜須賀中学校 3年生

松が丘保育園へのボランティアを通じて、支え合いの心を学びました。先生方1人ひとりが他の先生を支え合っているところや、園児たちが支え合って遊んでいる姿が多く見受けられました。支え合いのネットワークがあるところだからこそ松が丘保育園は明るさや優しさ、温かさなどに満ちているのだと感じました。

日本女子大学 4年生

特に印象に残ったことは、幼児教育の重要さです。私自身、子どもの教育というと小学校からという印象が強かったです。しかし幼い頃から子ども自身が小さな成功体験の積み重ねを蓄積してもらうことが非常に大切だと思いました。保育園・幼稚園・小学校などでも“先生”という存在の大きさ、影響力は子どもにとってすごくあって私は子どもと関わる仕事をしたいと思っていますが、子どもにとって影響力が大きい大人であることを意識し、責任感をもちなくてはならないと強く感じました。

《《(特非)ワ-ルたんぽぽひろばたんぽぽはうす



アレセア湘南高校 3年生

絵を描いていくうちに、描くのが難しい動物に合った時に、私は、「できる！描けるよ！」と言い、2人でトライしてみたら、描くことができました。私は、これから子どもと接していく上で、挑戦してみる事の大切さを体、心、で伝えていきたいです。

鎌倉女学院高校 2年生

1日目、未就学児の好奇心の高さ積極性にとっても驚きました。しっかり話せる年齢の子達とそうでない子達が衝突したり、年長の子が力て年少のことを押し退ける場面もあり、年少の子が怪我をしないかヒヤヒヤしました。しかし、それと同時に責任を感じました。2日目は小学生の勉強を見つつ、クッキーづくりを手伝い、一緒に遊びました。勉強は都道府県を覚えるプリントを持っていたので、その地域の有名なものを一緒に伝えるように心がけました。1日目で出会った子達と一緒に遊んでいる時、子ども達の積極的に工夫しようとする姿勢をみて成長を感じました。この2日間の体験を通して、積極性と好奇心の大切さを学びました。

日本女子大学 4年生

私は「子ども食堂」に関心があり、卒業論文でテーマにしようとしていることから、地域の親子さんが気軽に来ることができるような居場所づくりに興味があります。たんぽぽはうすでも地域の方々が気軽に足を運べる場所づくりをされているということで参加できて良かったです。子育てにおいて母親が孤立してし

まうことが1番親子によくないと思うし、こういった地域のコミュニティが大切になってくると感じました。茅ヶ崎市がもっと子育てをしやすいまちになるよう私もこれから貢献していけたらいいと思います。

《《きらきらぼし(子育て応援する会)



北陽中学校 3年生

すごく明るい雰囲気の中で過ごしやすかったです。幼稚園や小学校ではないところでこうして子どもと関わる仕事があることを知って、こういうところで働くのもいいなと思いました。子どもが楽しく遊べて、お母さんたちがおはなしできるような場所があることで、いい町になっていくなら、そういう活動にもっと関わって何か力になればと思いました。とにかく小さな子どもと遊ぶのはとっても楽しかったので、またやりたいなと思いました。

茅ヶ崎北陵高校 2年生

体験しているうちにどうやったら上手に話そうかができるのか、例えば身振り手振りを大きくしてみたり、思っている以上にゆっくり話したり、視線を低くしたりと考えながら行動していました。私が想像していた以上に気を付けることがあり、大変でした。

茅ヶ崎北陵高校 2年生

職員の方に「見守ることも大切なんだよ」と教わり、どういう子なんだろうと考えながら見守りました。職員の方を見ていて気づいたのは、自分が緊張していて楽しんでいると子どもたちにも楽しんでもらえないということと、褒めるということが小さい子どもと接するときの1つのポイントであるということでした。

鎌倉女子高校 2年生

小さい子の集中力にも驚きました。私や他のボランティアの子が話しても自分の世界に集中していたのが印象的でした。お母さん達の一人が幼稚園、保育園の定員について話していて、ニュースによく出る問題を間近で見たように思いました。それと同時にこのような活動をさらに広めないといけないと感じました。鶴が台の少子化問題も知れたので、地元への理解と小さい子への理解の両方が深まりました。

アレセア湘南高校 3年生

私は子どもをみて、幸せな気持ちになったが、今回の体験をして子どもは私が思っていたより元気で、保護者が子どもとずっと一緒に家の中にいると、すごく精神的や体力的に疲れてしまうと思った。母同士で、お話し合いや違う年齢の子と遊べるというこの場を市民皆にもっと知ってほしいと思った。

《《ちがぼ～(茅ヶ崎に冒険あそび場をつくろう会)



アレセア湘南高校 2年生

ちがぼ～を運営している方々やちがぼ～に遊びに来ていた人達がとても熱心で色々なことを教えていただきました。普段の学校生活では体験できないようなことがたくさんできてとても良い経験になりました。

最初はごみ拾いなどのボランティアにしようと思っていましたが、たくさんの人と関わることのできるちがぼへ参加して良かったと思いました。

アレセイア湘南高校 2年生

遊びの場の準備や火起こし、シャベルで水の道をつくったり、子ども達の想像豊かな思考や行動を間近で見ると純粋に楽しむ心を学びました。

アレセイア湘南高校 3年生

手伝いびっくりしたことがありました。それは遊び道具を手作りされていた事です。しかも子どもたちにも手伝ってもらったり準備の段階から楽しませていただきました。

《《(特非)赤ちゃんからのアートフルドシップ協会》》

円蔵中学校 1年生

このユースボランティアを友達にさそわれた事をきっかけにこのような機会ができて良かったです。実際にリモートで赤ちゃんと話したりどんな絵なのかを当ててもらおう、と言う物については赤ちゃん達の発想もとてもおもしろくて、赤ちゃん達も自分達もお互いに楽しくできていたと思います。

円蔵中学校 1年生

オンラインだったのもあり、発音良く、大きな声で話さないといけなく、そこでも少し難しかった。でも、やっぱり子どもとコミュニケーションをとるのは、楽しかったです。1人ひとり個性があって、楽しそうで、とても元気ができました。

第一中学校 3年生

正直私は子どもが得意ってわけではないと思ってたけれど、改めて子どもと関わってみると楽しいって思いが強くて子どもが好きになりました。

鵜沼高校 3年生

今回のボランティア活動で学べたことがありました。それは小さい子どもたちに対しての対応の仕方です。言葉を選ぶことももちろん表情にも気をつかい、ジェスチャーなどを使ってわかりやすく言いたいことを伝えることが大変でした。大変なこともありましたが、それ以上に小さい子と関わって何かを成し遂げられたということが楽しく、喜びも感じられた。

《《ほのぼののビーチ茅ヶ崎》》

梅田中学校 1年生

僕はマイクロプラスチックの削減のために日頃からゴミの分別やプラスチック製品をなるべく買わないようにしていきたいです。このボランティア活動ができて良かったです。

円蔵中学校 1年生

私はテレビやインターネットでビーチだけでなく世界中にたくさんのゴミがある事を知りました。一人一

人の行動が地球温暖化につながっていたり、海の生き物に影響が出ているのを今までにたくさん聞いてきました。なので1つでも多くゴミを拾うことができたので少し地球や生き物に良い事ができました。

円蔵中学校 1年生

自分が無責任に捨てたごみは回り回って自分に返ってきてしまう事を忘れないように自然に優しい生活を送ろうと感じました。

円蔵中学校 1年生

もともと最近、海にマイクロプラスチックのゴミだったり、プラのゴミを捨てる人が多く、魚や亀が間違えて食べてしまうことがあるとは知っていました。今回ユースボランティアに参加して、改めて『この問題を解決しなきゃ』と思いました。もしかしたら、こんな1人の力は何にもならないかもしれないかもしれません。でも、今の状況を知れたので、これを頭にいれて行動していきたいです。

北陽中学校 3年生

このごみがもし町からきたなら、海と一緒に町も変わるべきだと思います。私はこれから町でポイ捨てをみかけたら、そのごみが海を汚してします前に拾って捨てたいと思います。

第一中学校 3年生

ボランティアをしたことが無かったので最初は不安でしたが、大人の方も優しくおしえてくれて分かりやすく、楽しめました。

浜須賀中学校 3年生

これからはボランティアではなく、無意識に拾っているように、だれかがやるだろうという考えをなくし、自分がいるならやろうという考えをして、ゴミを積極的に拾っていきたいと思う。

浜須賀中学校 3年生

細かいマイクロプラスチックがたくさんあることを知りました。私は、そのゴミによって海洋生物が怪我をしてしまったり、地球がどんどん汚れてしまうことについて調べゴミを減らしていくべきだと思いました。だから、ゴミを減らしていくためにリサイクルなどをして日常からゴミを減らそうとこの活動に参加して考えることができました。

茅ヶ崎北陵高校 2年生

実際に活動で行ってみて、深く感じたことは色々なテレビとかの放送や本などで読むより実際に目で見て感じる方がよっぽど事態の深刻さに気づけるなと思いました。

アレセイア湘南高校 3年生

海岸清掃には初めて参加したのですが、あまりのマイクロプラスチックやごみの多さに驚きました。花火の跡やたき火の跡があり、無責任にごみを放置する人がいることに悲しくなりました。

茅ヶ崎高校 3年生

私がユースボランティアでのビーチクリーンに参加

したきっかけは2つあります。1つ目はボランティアに参加してみたかったということです。そして2つ目は自分が生まれ育った茅ヶ崎のビーチはどれだけ汚れているのか気になったからです。ボランティアに参加する前にはそれほど汚れてはいないのではないかと甘い考えをしてしまっていました。ですが、いざボランティアに参加して海へ行ってみると想像よりもはるかに多いゴミにとっても驚きました。増やさない努力をしようと思いました。そして自分たちの子どもがもし海に遊びにくるようなことがあったときに、綺麗なビーチであってほしいと願います。未来に綺麗な海を残すために、自分のできること、小さな事からでも少しずつやっていきたいと思いました。

《《サーフ90 茅ヶ崎ライフセービングクラブ》



松浪中学校 1年生

体験させてもらったことは高台からの見守り、けが人などの対応、海岸のパトロール、救助用のボードなどです。今回のライフセーバーの体験をして分かったことは、ぼくたちが海で楽しむことができるのは、ライフセーバーが見守ってくれているからということです。ライフセーバーが海にいないと、おぼれている人がいても、助ける人がいません。けがをしても、すぐに手当てしてくれる人がいません。ボランティアとして、そのような活動をしてきているライフセーバーのみなさんは「すごいな」と感じました。

松浪中学校 1年生

僕がライフセーバーの方に学んだことはまず自己紹介とか、そういう人の前に立つときんちょうしていただくんですけどライフセーバーさんの方々に気取るに話しかけてもらってとてもうれしくて、しだいに人の前にもたてるようになったし、きんちょうもしなくなっていきました。ぼくはユースをやって世界ってこんなに広いことを教えてもらいました。

第一中学校 2年生

体験先で、見守りや救助の体験を実際にさせていただきました。私は海の近くに住んでいるため、夏には何度も泳ぎに行ったりします。そのときに、私たちの安全をこうして見守ってくれているんだなあ実感し、とても感謝の気持ちでいっぱいです。1つ1つのことをたくさん見つけて、感謝を伝えたいと思います。

赤羽根中学校 2年生

僕はライフセーバーを体験してボランティアの大変さ、大切さが分かりました。今回の体験により僕は人の役にたきたいと思い、ライフセーバーになることを決めました。

《《(特非)湘南市民メディアネットワーク》



逗子開成高校 2年生

印象的だったのは、演者の方々の映画への熱意です。台本はあるんですが、現場の状況を見たり、ストーリーを考慮しながら、どのような動き・セリフにするのかを真剣に考えていて、何度も撮り直すことがありま

した。映画製作への熱意、真剣さには、驚きました。このボランティア活動では自分の知らなかった世界を学ぶ機会、興味のあった映画制作を「本物」から学ぶ機会を得られ、とても有意義な活動だったと思います。

アレセア湘南高校 3年生

私が行った日は人が3,4人しかおらず、この人数で撮影ができるのかと感じました。現場に着くとすぐ音響機材の説明をうけ撮影へ。いつも聞いている音でもクリアに聞こえてビックリしました。同じカットをいろんな角度で撮るため、普段は通らないような岩道を通ったりして、やはり撮影の裏は大変なんだなと思いました。

《《(認定特非)NPO サポートちがさき》



アレセア湘南高校 1年生

私はこのユースボランティアのちがさを学校でもらい、説明をしてもらったあとちがさきにこのような施設があるのを初めて知り、どのような活動を支援しているのか気になり、ここのボランティアに参加させていただきました。サポートセンターには、パソコンやコピー機などなにかを調べたり、つくったりするのに最適な環境がありました。それをコロナ禍でも安全につかえるように消毒したり、色々工夫したりしていて、このような場所があるのかと思いました。

アレセア湘南高校 2年生

2日間活動させていただきました。1日目は机と椅子の消毒、花壇の水やり、サポートセンターの冊子づくりをしました。2日目は花壇の手入れ、掲示物の整理をしました。最後にクイズをして、サポートセンターについて知れたのが良かったです。

自動販売機を設置していないのが良いと思いました。学校でSDGsについて学んでいたのも、実際に環境に配慮していると聞いて、改めてSDGsの意識をするようになりました。

明治学院大学 3年生

体験をしてみて、サポートセンターでの環境に配慮した取り組みを行っていることを知った。電気を使わないところは消していたり、消費電力の多い自販機を置かないなど今まで気にしたことがなかったが行うべき取り組みについての知識を得ることができた。また、同世代の方々が活動していることを教えて頂き、今まで興味を持ったことがないものに興味を持つことができた。

日本女子大学 4年生

今回のボランティアをさせていただき、サポートセンターは地域の方々の様々な活動を支えていることが分かりました。そしてサポートセンターは地域の方々をサポートする場所としてとても重要であると思うので、更に多くの方々に利用していただけたらいいなと感じました。

ボランティアで「こどたん+プラス」のイベントの学生企画について私も提案させていただき、当日のイベント運営に関わらせていただくことになりました。

※提出された体験レポート全てではありません。

LINE

公式アカウント

タイムリーな情報をお届け！

ボランティア情報や障害者生活支援センターのイベント情報など、市社協の情報を配信します！

LINEの友だち追加画面を開き、
右のQRコードを読み込むか、
ID【@chigasaki-shakyo】を
検索して、ご登録ください。



問い合わせ

社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉協議会（通称：茅ヶ崎市社協）

広報担当 TEL0467-85-9650 FAX0467-85-9651

“あなた”ができる時に、できるコトを、はじめてみよう

中・高校生でもできるボランティア

サポセンは、身近な地域での青少年向けボランティア活動を支援しています。

放課後・長期休暇期間や土日のみの活動もあるので気になったら問い合わせしてみてくださいね！

Twitter でもボランティア情報配信中 # ボランティア # 茅ヶ崎 で検索！！

サポセン Twitter はコチラ▶

(※高校生以上の活動もあります)



コロナ禍、活動が変更している場合があります。
③は現在お弁当販売⑤は現在活動休止中

やってみよう！知りたい！
生活の中で実践してみよう！

学習支援・居場所づくり

		日時	場所	活動内容
①	こども応援丸	毎月 2 回(火)18:30～19:30 (木)18:30～19:30 (金)19:00～20:30	南湖公民館 香川公民館 青少年会館	中学生の学習支援
②	のびしろクラブ	毎週(火)15:30～17:00	香川小学校近く	小学生の学習支援
③	鶴が台 みんなの居場所	毎月第 3(金)16:30～20:00	鶴が台名店街内	小・中学生の学習支援 カレーの配膳手伝い。一緒に食べます
④	ほんそん子ども食堂 「いただきます」	第 1・3(木) 17:00～19:00	本村交差点近く	子どもたちの遊び相手。一緒に食べます
⑤	みんなで 食べよう会	偶数月第 4 (日) 10:00～12:00	萩園いこいの里	みんなで一緒に調理し、食べ、遊ぶ (現在はコロナ禍により活動休止中)

土日や放課後、不定期の活動も！

		日時	場所	活動内容
⑥	ほのぼのビーチ茅ヶ崎	第 1 (日)午前	海岸ヘッドランド付近	海岸清掃
⑦	湘南ウキブイ	第 2 (日)午前	海岸ヘッドランド付近	海岸清掃
⑧	生活リハビリクラブ	月～土	北茅ヶ崎駅徒歩 5 分	高齢者デイケアでの手伝い
⑨	ぽかぽか保育園	月～土午前午後	北茅ヶ崎駅徒歩 5 分	保育補助・親子のフリースペースの手伝い
⑩	バオバブの樹	第 2・第 3(土)	未定 主に市内公共施設	子どもたちの活動サポート
⑪	アステム湘南	(月)18:00 (水)17:00	総合体育館 汐見台小学校体育館	バスケットボール教室の手伝い バスケットボール/体操教室
⑫	Ocean's Love	毎月 2 回(土) 8:30～12:30 毎週(月)～(土)15:00～18:00	海岸ヘッドランド砂浜 中海岸	運動プログラム (11 月～3 月) 放課後デイサービス
⑬	おもちゃ田んぼの会	6 月～11 月不定期	鶴高北側の田んぼ	子どもたちの遊び相手・田んぼ体験
⑭	「わーく」編集部	(月)15:00～18:00	未定	災害ボランティアの質問・相談 (事前に電話申し込み)
⑮	BENIRINGO	不定期	未定	別紙の OR コードよりアクセス Instagram でも発信
⑯	サポセン	夏休みのユースボランティア 是非参加してください (申し込み: 6 月～)		

ボランティア募集情報誌

茅ヶ崎市社会福祉協議会 (ボランティアセンター) から発行される情報誌「OPEN THE DOOR」。主に福祉のボランティア活動の情報を発信しています。

食べて飲んで洗って?！ボランティア

- 明治「チョコレートで応援します」
ミルクチョコレートの売上の一部が「アフリカの難民の子どもたちの栄養改善プログラム」に役立てられます。
- コープ (生活協同組合)「みるくぼさん」
牛乳 1 本 (1 ℓ) で 1 円をユニセフや国連 WFP に寄付し世界の子どもたちへの支援に貢献しています。
- LUSH「チャリティポット (ハンド・ボディローション)」・「サンフラワーソープ」・「ファン/クレイソープ」
売上の全額または一部を、人権擁護・人道支援、自然環境の保護、動物の権利擁護の団体や、東日本大震災復興支援の団体に寄付しています。(辻堂テラスモールにもショップがあります)

他にも買うだけで寄付ができる商品がいろいろあるかもしれません！身近なものを買うときにチェックしてみましょう！

＜問い合わせ先＞

ちがさき市民活動サポートセンター 若者ボランティア支援担当 TEL:0467-88-7546 Email:s-center@pluto.plala.or.jp

(一覧表は 2021 年 11 月現在の予定です)